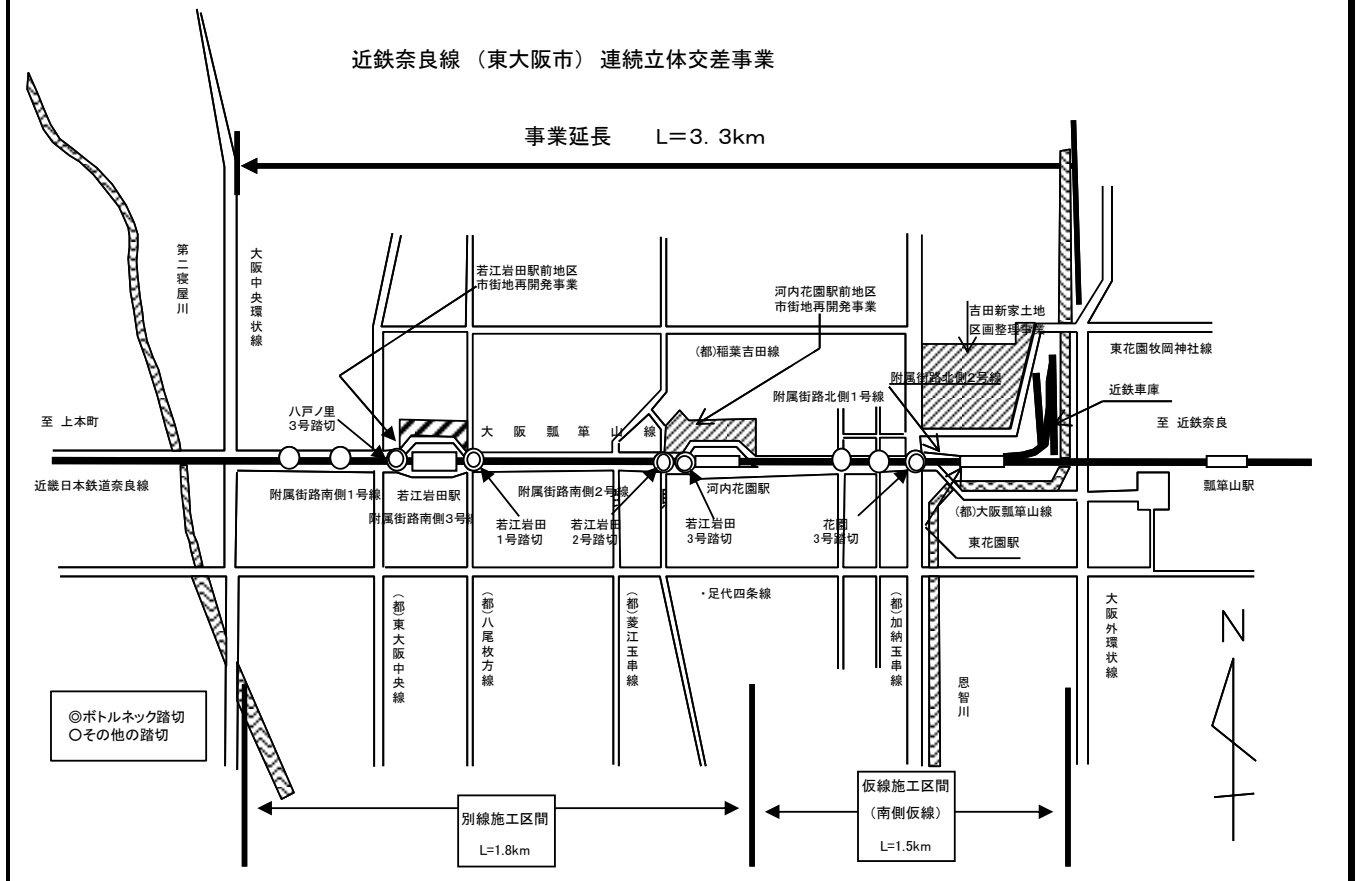


## 再評価結果（平成 31 年度事業継続箇所）

担 当 課：都市局街路交通施設課  
担当課長名：本田 武志

事業名	近畿日本鉄道奈良線（若江岩田駅～東花園駅間）		事業区分	連続立体交差	事業主体	大阪府
起終点	自：東大阪市西岩田 2 丁目 至：東大阪市桜町				延長	3.3km
事業概要						
<p>本事業は、近畿日本鉄道奈良線の若江岩田駅～東花園駅間の約 3.3km において鉄道を立体化することにより、9 箇所の踏切を除却し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図る事業である。</p>						
平成 4 年度事業化	平成 4 年度都市計画決定	平成 5 年度用地着手	平成 14 年度工事着手			
全体事業費	683 億円	事業進捗率	94%	供用済延長	3.3km	
計画交通量	222,816 台/日（踏切交通遮断量）					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2  (残事業) 19	総費用 (残事業)/(事業全体) 55/857 億円 事業費：54/856 億円 維持管理費：1/1 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,054/1,054 億円 走行時間短縮便益 889/889 億円 走行経費減少便益：139/139 億円 交通事故減少便益：26.9/26.9 億円	基準年	平成 28 年	
感度分析の結果						
(事業全体) 交通量	: B/C=	～	(交通量 ±10%)	(残事業) 交通量	: B/C=	～ (交通量 ±10%)
事業費	: B/C=	～	(事業費 ±10%)	事業費	: B/C=	～ (事業費 ±10%)
事業期間	: B/C=	～	(事業期間 ±20%)	事業期間	: B/C=	～ (事業期間 ±20%)
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・踏切除却により踏切事故が解消される。</li> <li>・踏切除却及び渋滞緩和により緊急車両の通行の円滑化が期待される。</li> <li>・駅及びその周辺施設の整備にあわせバリアフリー化が促進される。</li> </ul>						
関係する地方公共団体等の意見						
早期の事業完成を望んでいる。						
事業評価監視委員会の意見						
継続について妥当である。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
特に無し。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
・平成 26 年度に高架化が完了し踏切遮断が解消されるなど事業の 94%が完了しており、主な残事業は駅舎整備と堤防復旧。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
・側道の整備に取り組んでいく。						
施設の構造や工法の変更等						
・下り線高架後から全線高架化までの鉄道騒音及び夜間工事に際し、防音型仮設高欄の設置などの環境対策工を実施。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由						
平成 26 年度に高架化が完成したが、事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。						

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。